



元気いっぱい湯野っ子



避難訓練



9月15日(金)のお昼休みの時間に、本年度第2回目の避難訓練を実施いたしました。強い地震が発生したあと、図工室近くの配電盤より火災が発生という想定で行いました。また、今回も、子ども達への事前予告なしでの避難訓練でした。

お昼休みということで、子ども達は、教室や廊下、校庭とそれぞれ思い思いの場所で過ごしていました。「避難訓練を行います。強い地震が発生しました。今いる場所で、すぐに身を守る行動をとり、そのまま次の指示を待ちなさい。」との校内放送が流れると、校庭の真ん中で身をかがめたり、教室の机の下に、身を隠したりと落ち着いて身を守る行動をすることができていました。間をおいて、火災報知機のベルが鳴り「図工室から火災が発生しました。図工室前を通らずに校庭のプール前に避難します。先生がいないときは、そのまま避難しなさい」との放送が流れると、子ども達は、慌てることなく、素早く校庭に避難することができました。

全員無事に避難できた後の全体会で、放送をよく聞いて、身を守る行動や校庭への避難が落ち着いてできたことを称賛しました。また、今回のように、災害はいつどこでおこるかわからないので、いざという時は、慌てずに、放送や周りの大人の方の指示をしっかりと聞くことが大切であること、自分の命は自分で守るという思いを持って行動することが大切であることを改めて指導しました。今回の訓練で身につけたことを忘れずに、有事の際に落ち着いて行動できるようになってほしいです。

認知症サポーター養成講座



9月6日(水)に福島市飯坂東地域包括支援センターの職員の方を講師に迎え、6年生が認知症サポーター養成講座を受講しました。

認知症の症状は単なる物忘れとは違うことや、認知症の方への接し方などを具体的な例や場面をもとに学ぶことができました。

講座の途中で、「これからグループワークを行うので、以前にお願いしていた便箋や付箋を出してください。」との指示がありました。事前に準備していなかったため、担任も子ども達も大慌てでした。そこで、講師の先生より、「すいません、事前にはしていませんでした。急に言われてびっくりしましたよね。」とのお話があり、ほっとしました。これは、認知症の方が、周りの人から、自分のわからないことを言われて、困っていること、嫌な気持ちになっていることを実感してもらうための実験でした。

この体験の後、ゴミ出しでごみの分別が上手にできなかった認知症の方への対応の良い例と悪い例、買い物でお金をいくら出したらよいのかわからなくなっている認知症の方への対応の良い例と悪い例のビデオを視聴しました。先ほどの体験と合わせて、認知症の方に限らず、困っている人には、その気持ちに寄り添い、びっくりさせたり、焦らせたりしないで、優しく対応し、どうしたらよいのかをより具体的に話すことが大切であることを学ぶことができました。包括支援センターの職員の皆様、ご指導ありがとうございました。



※ 子どもたちの様子を毎日更新してアップしておりますので、湯野小HPのブログも
ぜひご覧ください。学校だよりもカラーで掲載しています。

福島市小・中・特別支援学校ポータルサイト <https://fukushima.fcs.ed.jp/湯野小学校> QRコードはこちら→